資料7

平成１９年度標準化調査研究の状況報告について

平成２０年３月７日

経済産業省

基準認証ユニット

＜19年度標準化調査研究における状況＞

●平成19年度規格原案作成・提案・制定件数について 【平成19年度末見込み】

・JIS原案作成件数： 47

・JIS制定件数　　： 45

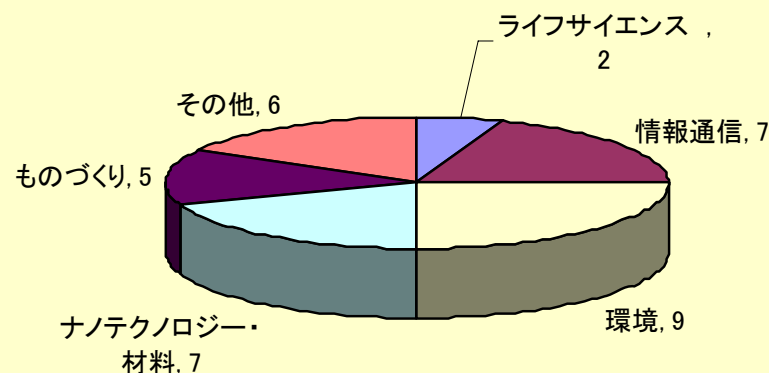
・ISO／IEC原案作成件数： 30／ 2

・ISO／IEC提案件数　： 41／20

・ISO／IEC制定件数　： 45／ 6

●基準認証研究開発事業について

平成19年度実施件数： 36件

※安全・安心分野、科学技術政策の重点推進分野である「ライフサイエンス」、「情報通信」、「環境」、「ナノテクノロジー・材料」の4分野や優れた技術力を有し中小企業比率の高い「ものづくり技術」分野等、我が国が優位にある技術分野を中心として、国際標準化のための研究開発を実施。

＜標準化調査研究の主な平成19年度提案事例＞

●消費生活分野

・高齢者・障害者配慮設計指針（製品の凸記号表示、報知音、妨害音・音圧レベル、視覚表示物、包装・容器）

・電気・電子分野の取扱説明書

●環境分野

・集じん用ろ布の性能評価方法

・環境管理会計（マテリアルフローコスト会計）

●新技術分野

・電気自動車の安全性試験方法

・固体高分子形燃料電池単セルの性能評価法

・車上一次リニア誘導モータ（LIM）の性能評価方法

＜参考．平成19年度標準化調査研究の概要＞

国際標準化(ISO･IEC)／国内標準化(JIS)

規格原案の作成・提案

標準化のための研究開発(データ収集、比較検討、再現性の確認等)

研究開発段階

標準化のステージ

①社会ニーズ対応型基準創成調査研究事業

〔消費者保護や環境問題、高齢者・障害者対応等の社会ニーズ(安全・安心)に対応したJISや国際規格、強制法規の技術基準に引用されるJISの整備〕

②新規分野・産業競争力強化型国際標準提案事業

〔SR(社会的責任)、リスクマネジメント、サービス分野等の新たな分野や我が国が技術的に優位にある技術分野における国際対応や国際規格の整備〕

⑧国内人材育成等基盤体制強化事業

〔産業界や消費者団体等における「国際標準を作成できる人材」及び「国際会議においてリーダーシップを発揮できる人材」の育成〕

③基準認証研究開発事業

科学技術振興費　(うち補助金)

中小企業対策費

〔安全・安心分野、科学技術政策の重点推進分野である「ライフサイエンス」、「情報通信」、「環境」、「ナノテクノロジー・材料」の4分野や優れた技術力を有し中小企業比率の高い「ものづくり技術」分野等、我が国が優位にある技術分野を中心として、国際標準化のための研究開発等〕

NEDO運営費交付金

【一般会計】

④開発成果標準化フォローアップ研究

⑤国際標準創成国際共同研究開発

【特別会計】

⑥新発電システム等調査研究

⑦ｴﾈﾙｷﾞｰ使用合理化ｼｽﾃﾑ標準化調査

〔NEDOの研究開発プロジェクトの成果を中心に国際標準化するための研究開発や調査研究〕

技　術　的　ブ　レ　イ　ク　ス　ル　ー

民間等における研究開発

NEDO等の国家研究開発プロジェクト